

新製品 155SKU発表

藤井 メイ 秋冬新製 学童から大人向けまで

株式会社レイメイ藤井（藤井章生社長、東京都）は、7月22日～8月31日まで、東京・江東区の東京本社、大阪・阿倍野区の大坂支店で、「新機能・新デザイン・新しい発見がいつばい」をテーマに、2022年秋冬新製品「フェア」を事前予約制で開催している。

フェア会期初日の22日午前11時から東京本社で記者会見を行い、藤井社長は「コロナの感染者は急増しているが、行動制限は緩和されている。本日は所用のためオンライン参加であるが、ビジネスは平常通り行っている。6月末の前期決算は、九州リテールサ



フェア会期初日の22日午前11時から東京本社で記者会見を行い、藤井社長は「コロナの感染者は急増しているが、行動制限は緩和されている。本日は所用のためオンライン参加であるが、ビジネスは平常通り行っている。6月末の前期決算は、九州リテールサ

「フェア」は、学童から大人向けまで、56アイテム155SKUを発表している。大人向けの新製品は、ミニマムとシンプルをコンセプトにした本革製小物「マイニスト」(10月発売)、カラーエッジタイアリー生地を使用したタックで留めるシンプルなファスナーレスベンケース「カラーエッジ」(同)、トレーのふちに手前に大きく開き検査性が高い「ツイニー・ベンケース」(同)、リング部分を革で覆ったシンプルなデザ

体制を整えている。市場に向けて、受賞商品のような付加価値の高い商材を提供、企業の社会的責任におけるSDGsへの取り組みで社会貢献し、決意をもつて進んでいる」と、事業部の概況を織り交ぜながら説明。また、新規事業のスーパーフラワーの動向について、教室と工房を柱に伸ばしているが、新作の胡蝶蘭のペーパーフラワーが企業からの引き合いが



本革製小物の新シリーズ「タイニスト」

の15リングシステム手帳「マイニスト・ドルチェメント」(11月発売)。このうち、皮革小物の新シリーズ「タイニスト」は、キャッシュレス時代に対応したバタフライケース、スマホと一緒持ちやすいフラグメントカードケースなど、6アイテムを男女共用で使えるカラーで展開。タウィンの新シリーズ「マイニスト・ドルチェメント」は、若い世代に向けてノート感覚で使えるものをと、2011年発売のドルチェレザードシステム手帳を継承・進化させた。メイドインジャパンのなめし革を使用、革そのものの質感や柔らかさを生かすことができる。このほか、「アフェス」の携帯小物シリーズの秋色(9月発売)、ロングセラーの「グロウル名刺入れ」(10月発売)と、人気が高い「アルミカードケース」のリニューアル(同)、クリアなベンケースで人気の「クエブ」の推し活の収納アイテムとして活用できる「インスター」シリーズや「勉強や押し活がはかどるアイテム」(同)など。

学童向けの新製品は、中身が見える「コーデが楽しめる同社初のフタ部分がクリア素材の筆入れ「トップライナー」(10月発売)、本体天板に約10度の傾斜が付いて姿勢が良くなり集中力がアップする学習台「収納スペース付学習台」(同)。

このほか、毎年人気の「トップライナーハート」(女の子タイプ)の新デザイン(10月発売)、日本文具大賞グランプリ受賞の「魔法のガラガララ下じき」のアイテム追加(同)、定番の「シルバークラッシュ」のバックジージ&カラーリングリニューアル(同)、通学用キーケース「のサイズリニューアル」(同)、「乾電池式防犯ブザー」の新デザイン(同)など。

このうち、「通学用キーケース」は鍵に注目し、マンションでの導入率が増えているハンスフリーキーが入るひとまわり大きいサイズに改良した。

「魔法のガラガラ下じき」は要望が多かったO・3ミッドタイプA4、B5のクリアタイプと、暗記学習に最適なクリアレッドとクリアグリーン(同)が加わり、10SKUのボリュームに拡充。日本文具大賞のグランプリ受賞の反響が大きく、ドラッグストア300～500店舗での取り扱い開始などにより、生産体制を増強している。

団地開設50周年祝う

大阪紙文具流通センター

189名参加してビアパーティ

協同組合大阪紙文具流通センター(堀隆理事長)は、昭和46年の団地開設以来、昨年50周年を迎えたが、7月22日

午後7時から心斎橋の日航ホテル大阪で50周年記念納涼ビアパーティを開催した。

ビアパーティは、新型コロナウイルスの感染拡大によって1年延期していたもので、当日は29社から189名が参加し、完璧なコロナ対策をとって夏夜のビアパーティを楽しんだ。



50周年記念納涼ビアパーティの様相

ち堀理事長が「当組合は1971年、昭和46年に団地を開設し、昨年が50周年だった。

「オンライン」出席した藤井社長(左)挨拶する井上専務

本来なら昨年500名が出席してビアパーティを開催する予定だったが、コロナのために1年延びた。今日はコロナの検査キットによって事前の検査を行っており、出席者は全員陰性である」と挨拶し、合わせて乾杯の音頭をとりスタートした。

宴席では、ボーカルのRISACOさん、ピアノの上條みずほさん、サクスの山口マリさんの歌や演奏で会場を盛り上げ、豪華景品が当たる抽選会では当選番号が発表されるたびに会場が沸いた。最後に村井久谷副理事長の閉会挨拶で閉じた。



本を読んでもファイトアズを応援

パイロットが協賛

株式会社パイロットコーポレーション(伊藤秀社長、東京都)は、今年も北海道日本ハムファイターズが行う読書促進全道キャンペーン「アラブ」を本に持ちかえての「環本」を読んでファイターズを応援しよう! キャンペーンに協賛した。



PILOT

は、北海道内で図書館を利用する児童の数や貸出冊数が減少する中、幼少期から読書の習慣をつけ学力向上につなげたいと企画されたもので、道内の小学生を対象に目標冊数を読み終えた児童に、同社製「ファイターズロゴ入りシャーペン」(ドクター

グリッブ)をプレゼントするもの。

同社では2017年よりこの協賛を通して、子どもたちの学びの機会を応援している。

また、今年も朝日新聞社・テレビ朝日主催の「JSDC 2022高校生・高専生科学技術チャレンジ」に協賛した。

未来の科学者の創出・育成を目的とし、日本の科学技術の将来を担う全国の高校生と高専生を対象とした科学技術の自由研究コンテスト。

KOKUYO

貼るって、こんなに変わる。

GLOC

